

西川町議会だより

号外版 新型コロナウイルス対策特集

令和2年 第1回 臨時 議会

第1回臨時会を4月20日に開催しました。今回は、新型コロナウイルス感染症の各種対策に取り組む補正予算などを審議し、全員賛成で可決しました。その質疑内容を紹介します。

感染防止対策と経営支援対策を

マスクの確保

問 町民のマスク確保はどのように対応しますか。

答 総務課長
町民の方から寄附していただいた手づくりのマスクは、小中学生に配布しました。また、保育園児（3歳児）に子供用のマスクを支給したほか、高齢者への配布も予定しています。今後とも必要な所に順次提供していきたいと考えます。

また、商工業者の事業継続のために必要となるマスクの枚数を確認し、配布します。

問 小中学生へのマスク配布は寄付されたものだけで賄うのですか。

答 学校教育課長
それぞれ給食当番用に1枚ずつ持っています。これと寄付されたものと合わせて2枚になります。いざという時のために、ある程度の数量は備えておきたいと思えます。

問 高齢者に配付する分も含め補正予算により各課で購入するマスクの、1枚あたりの単価と購入予定枚数を教えてください。

答 総務課長
1枚当たり50〜60円で、合わせて1万枚程度の購入になるものと想定しています。

地域振興券の配付

問 地域振興券とはどのようなものですか。

答 商工観光課長
町民1人あたり3000円分の地域振興券を配布します。飲食や宿泊に利用できます。全国に緊急事態宣言が出され、外出の自粛などが要請されるなど、補正予算の編成時とは状況が大きく変わっています。この状況を見ながら実施時期を決めますが、準備だけは進めておきます。

問 どのようなお店で利用できますか。

答 商工観光課長
公募による町内の40店舗前後を想定しています。

問 いつまで使用できるのですか。

答 商工観光課長
町商工会のプレミアム付き商品券の使用期限や月山フレカのポイント5倍の期限が8月末頃です。これに合わせる予定です。

問 3000円分とした根拠は何ですか。

答 商工観光課長
町の財政規模を考慮し、対策の第一弾としては適当と考えます。

問 なぜ飲食や宿泊に限定するのですか。

答 商工観光課長
小売業と比較して売り上げ減が著しいと判断したためです。

事業者への補助拡大

問 小規模事業者持続化補助金の内容を教えてください。

答 商工観光課長
町内事業者の持続発展のため、平成29年から実施しています。当初予算は1社につき補助率3分の2、上限30万円の3件分でしたが、30件分を追加し、補助率を5分の4まで引き上げます。

対象となる事業内容としては、新型コロナウイルス感染症予防のための消耗品や備品の購入があります。また、出前や宅配、通信販売等への業態変更に関する経費や、それに伴うホームページ、SNS等のリニューアル経費なども対象の予定です。さらに、今後の国や県の融資、助成の申請に係る手数料など、広く使えるように考えています。

令和2年 第2時 令第臨

町民1人あたり10万円を給付

特別定額給付金

問 特別定額給付金の申請書を5月18日に発送し、20日から受付開始ですが、もう少し早くなりませんか。

答 総務課長 他市町村と比較しても決して遅くはないと考えています。今後の進め方によっては早まる場合もあります。

問 高齢者が多いことを考慮し、職員の見学による事務処理はできませんか。

第2回臨時会を5月1日に開催しました。今回は、国が実施する特別定額給付金などの補正予算を審議し、全員賛成で可決しました。その質疑内容を紹介します。

答 総務課長 地域担当保健師を中心とした声がけなど、関係部署で連携して対応するよう以前から指示しています。

問 申請の有無をどのように確認しますか。

答 総務課長 受付期間の3か月（5月20日～8月19日の予定）の間に一定の区切りをつけて、その段階で整理して確認します。申請もれなどがないよう行います。

3000セットの追加販売

プレミアム付商品券

問 追加分は、前回購入した方でも再度購入できますか。

答 商工観光課長 1世帯につき5セットまで購入可能です。前回の販売でそれに満たなかった場合は購入できます。

各世帯の購入セット数は、商工会が購入票で確認します。

問 前回発行2000セットへの補助は400万円でした。今回は3000セットで600万円になるかと思いますが、残り45万円の内訳は何ですか。

答 商工観光課長 商品券印刷に33万円、チラシ印刷に7万円、その他諸経費5万円です。今回は商工会の予算で対応しましたが、追加分は緊急性もあるため補助します。

事業所へはどんな支援を

支援の嵩上げ

問 持続化給付金と緊急経営改善支援金への補助の嵩上げについて、法人と個人の数々の想定が違うのはなぜですか。

答 商工観光課長 持続化給付金はすべての事業者が対象ですが、緊急経営改善支援金は、県の休業要請に応えた事業所が対象です。その件数を商工会とともに想定したものです。

問 町内での緊急経営改善支援金対象となる業者は限られます。どのように確認をしていますか。

答 商工観光課長 関係者による支援チームを設置し、説明に回っています。

問 支援チームで巡回した各事業所の状況はどうでしたか。

答 商工観光課長 宿泊、飲食、小売りなど80事業所を2～3回訪問しました。町外からの収入で経営されている事業所は想像以上にひっ迫しており、緊急を要する事業所への個別の対応を考えなければなりません。様々な制度を紹介するとともに、電子申請など手続きの支援を行います。

子どもたちにはどんな支援を

学習支援

問 子どもたちへの支援に関する補正予算が何も計上されていません。第3回の補正予算に向けてしっかりと検討してください。

答 町長 教育への取組みは今後の動向を見ながら検討します。念頭にならなければなりません。

答 教育長 その都度、課題を確認しています。現在は週1回の分散登校を行なって、教室も密にならないよう工夫しています。基本的には自宅学習ですが、授業の動画配信なども始めています。また、児童生徒へのタブレットの導入はまだまだですが、文部科学省で検討を前倒ししているようです。

臨時会で審議、可決された令和2年度一般会計補正予算の概要（主な歳出）

議案番号	件名・主な内容	
第1回臨時会 議第26号 ※質疑は1ページ	一般会計補正予算（第1号）48億1143万4000円（3643万4000円の増）	
	24万3000円	窓口事務担当職員用のマスクや非接触型体温計などの購入
	28万4000円	路線バス運転手用のマスクや非接触型体温計などの購入
	35万5000円	にしかわ保育園の空間除菌消臭加湿器の購入
	132万2000円	75歳以上の高齢者一人暮らしや高齢者のみ世帯の方に配付するマスクの購入 町有施設等消毒用防護服セットなど感染症発生時の初動資機材などの購入
	100万円	町内産品愛用運動フレカポイント割増に係るフレカ加盟店会への補助
	1623万4000円	町内の飲食、宿泊消費喚起のための地域振興券交付事業の各種費用
	900万円	事業者の感染症安全対策確保のための小規模事業者持続化事業補助
	360万円	事業性評価融資制度利子補給金の拡大
	395万6000円	月山入口における問診業務のための業務委託料
	18万3000円	西川小学校及び西川中学校並びにスクールバス用の消毒液などの購入
5万3000円	町民体育館のボール消毒液などの購入	
第2回臨時会 議第27号 ※質疑は2～3ページ	一般会計補正予算（第2号）53億7428万4000円（5億6285万円の増）	
	5億1870万円	特別定額給付金（町民1人当たり10万円の給付）
	1270万円	特別定額給付金事業にかかる臨時的な人件費、事務経費、システム改修費
	645万円	プレミアム付商品券3000セットの追加発行補助
	1900万円	国の持続化給付金の対象者に、法人には20万円、個人事業者等には10万円ずつ町が嵩上げて給付
600万円	県の企業活動自粛要請に協力する事業者に対する緊急経営改善支援金に、法人には20万円、個人事業者等には10万円ずつ町が嵩上げて給付	

※ 第1回臨時会で審議、可決した一般会計補正予算以外の内容は、7月15日発行の西川町議会だより113号で紹介いたします。

さらなる支援の形と財源は

財源の確保

問 今後の取組みの財源として、中止にしたイベント等の予算や使う見込みが無くなった予算などを組み替えて確保してはどうですか。

答

町長 新型コロナウイルス感染症を災害と認識して財政調整基金を充て、ふるさと納税は子育て関係に活用するなど、借金に頼らない対応を行います。

町外への支援

問 大学などが休みでも移動規制で実家に帰れない学生への支援として、物資などを送るといのはどうですか。精神的な支えにもなります。

答

総務課長 実施している市町村もあります。学生の問題や課題の確認が困難ですが、教育委員会とともに生活支援も含め意見をうかがいながら、対応を考えたいと思います。

問

こういふ時こそ、外部からの支援を受けるといふ点で台湾との交流が生かされるのではないですか。

答

町長 今後の対応の一つとして考えたいと思います。

その他の意見

◆特別定額給付金の給付時期は早くない。県内でも遅い方だ。
◆地域振興券3000円の情報が町民にきちんと伝わっていない。

【編集後記】

西川町は新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、国や県の動きに沿った様々な対策を実施しています。議会としては、感染対策にかかる一般会計補正予算の審議を通じて、町の取組みをチェックしてはいますが、その内容を早急に町民のみなさんへ紹介する必要がありますと判断しました。今回発行した西川町議会だより号外版を通じて、この緊急事態に実施される事業に対し、議会はどのように問い、町はどのように答えているかをご理解いただければ幸いです。

《発行・編集責任者》

議長 古澤 俊一

《編集委員》

委員長 大泉 奈美

副委員長 佐藤 光康

委員 大江 廣康

委員 菅野 邦比克

委員 佐藤 仁

西川町議会では、新型コロナウイルス対策に関する町の取組みの状況をふまえた様々な要望をとりまとめ、5月14日、下記の内容の要望書を小川町長に提出しました。

新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書

【全体的な対策】

- 1 町民の生活と健康を守り安心して暮らせるよう、国、県及び関係機関と連携を図り、収集した情報については正確に町民に周知するとともに町議会に対し報告を行うこと。
 - 臨時便を含む「お知らせ」による分かりやすい情報伝達
 - 新型コロナウイルス感染症対策本部会議における情報の議会との共有

【感染予防対策】

- 1 マスクやアルコール消毒液など不足する状況の中、必要とする町民が、即座に安心して購入できるよう対応する行政の問合せ専門窓口を設置すること。
 - 購入できるお店の情報収集と情報提供

【生活支援対策】

- 1 国の「特別定額給付金」について、早期給付を目指し、速やかで確実な交付のための万全の対策を講じるとともに、申請受付にあたっては町民に丁寧な説明を行い100パーセントの申請率（給付）に努めること。
- 2 休業を要請された方、無休で待機している方、解雇された方など新型コロナウイルス感染症の影響による生活困窮者に対し、町税の徴収猶予や国民健康保険税、介護保険料等の軽減を図る対策を講じること。

【事業所・商店支援対策】

- 1 予算化した地域振興券について早期の交付を行うとともに、今後、町内の全ての商店、事業所で使うことのできる地域振興券の追加発行を検討すること。
- 2 国の持続化給付金事業、県の緊急経営改善支援金事業について、事業者に対し丁寧な説明を行い制度活用の促進を図るとともに、今後の国、県の対策についても町独自の嵩上げや支援対策を講じること。

【教育・子育て支援対策】

- 1 町内の小中学校については授業が再開されており、今後とも検温、マスク着用、手洗い、アルコール消毒の徹底を継続し、感染者を出さない安全・安心な学校経営に努めること。
- 2 長期にわたり臨時休校措置となっていたことから、子供たちがスムーズに学校生活を送れるよう配慮するとともに情報通信技術（ICT）を活用した小中学生向けのオンライン授業や動画配信についての環境整備を推進すること。
- 3 保護者の子育て負担軽減を図るため、町内の18歳以下の子供一人につき1万円を交付し、支援を行うこと。
- 4 県外で学んでいる町内出身の学生に対し、町特産品の詰め合わせ応援便を送るなどの支援を行うこと。

【財政確保対策】

- 1 令和2年度予算について、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できない事業を見直し、積極的な予算の組み替えを検討し、新型コロナウイルス感染症対策に要する事業の財源に充て、不足する分については基金の有効活用を図ること。

【その他の対策】

- 1 今後、新型コロナウイルス感染症の影響が大きくなると予想される農林業への実態調査を行い、町独自の支援対策を講じること。
特に啓翁桜、スノーボール等の花卉生産農家の実態調査を早急に行うこと。